

領域横断科目

専門分野

授業科目	病氣と共に生きていく人への看護	講師	氏名	①不動寺美紀 ②権田園美 ③川口慎一郎	開講 年次	単位・時間		
			所属	①③病院 ②専任教員				
			実務経験	①慢性疾患看護専門看護師 ②臨床看護師 ③脳卒中リハビリテーション看護認定看護師				
科目のねらい	私たちは、現在3次予防の視点をもとに、社会生活を営み、1人1人が常に高い健康志向を抱いている。このような背景を理解し、疾病と共に生きていくあらゆる発達段階の対象の身体的・精神的・社会的特徴を考え、慢性期に必要な看護を実践する基礎的能力を養う。また、身体の回復は明らかであるが、何らかの機能障害が残るリスクのある回復期に必要な看護を実践する基礎的能力を養う。							
到達目標								
知識・技術	<ol style="list-style-type: none"> <li>慢性疾患の種類および経過について説明できる。</li> <li>慢性疾患をもつ対象、回復期における対象の身体的・精神的・社会的特徴を説明できる。</li> <li>慢性疾患をもつ対象、回復期における対象にかかわる専門職について説明できる。</li> <li>慢性疾患をもつ対象、回復期における対象の家族の特徴とその支援について説明できる。</li> <li>慢性疾患の罹患や死亡が異常について説明できる。</li> <li>慢性疾患を有する人に行われている治療の特徴について説明できる。</li> <li>リハビリテーション看護の専門性と役割について説明できる。</li> </ol>							
思考・判断・表現	<ol style="list-style-type: none"> <li>事例をもとにあらゆる発達段階における慢性疾患をもつ対象の支援、援助を検討し、ロールプレイにて指導を実践することができる。</li> <li>事例をもとにあらゆる発達段階における回復期における対象の支援、援助を検討することができる。</li> </ol>							
主体的学習態度	<ol style="list-style-type: none"> <li>各発達段階、疾患の理解を深めるための予習・復習をすることができる。</li> <li>ロールプレイにて事例の役割を演じることができる。</li> </ol>							
科目評価	定期試験(筆記)20% ロールプレイ60% 事前課題20% 合計100%							
テキスト	ナーシング・グラフィカ 成人看護学② 健康危機状況/セルフケアの再獲得(メディカ出版) ナーシング・グラフィカ 成人看護学③ セルフマネジメント(メディカ出版) ナーシング・グラフィカ 基礎看護学⑤ 臨床看護総論(メディカ出版) 成人看護学慢性看護 病氣と共に生活する人を支える改訂第2版(南江堂)							
参考文献								
回数	教育内容	教育方法			講師	関連科目	留意事項	
		講義	演習	その他				
1	<ol style="list-style-type: none"> <li>慢性期看護とは</li> <li>慢性疾患の特徴</li> <li>慢性疾患における治療の特徴</li> <li>慢性疾患を有する人とりまく療養環境の特徴</li> <li>慢性疾患を有する人に対する看護師の役割</li> <li>慢性疾患を有する人にかかわる専門職とチーム医療</li> <li>慢性期看護の今後の展望</li> </ol>	○			不動寺美紀			
2	慢性期疾患を有する人とその家族の理解 <ol style="list-style-type: none"> <li>慢性疾患を有する人の特徴</li> <li>病氣および障害を受け入れるプロセス</li> <li>慢性疾患および治療が及ぼす自己概念への影響</li> <li>慢性疾患を有する人を支える家族の特徴</li> </ol>	○						
3	治療受け入れが困難な老年期の事例(糖尿病)の指導の実際		○			権田園美	事前課題 治療受け入れが困難な老年期の事例(糖尿病)について必要な支援・援助を検討したものをロールプレイで実践する。	
4	副作用が強く症状セルフマネジメントが必要な成人期の事例(悪性新生物)の指導の実際		○				事前課題 副作用が強く症状セルフマネジメントが必要な成人期の事例(悪性新生物)について必要な支援・援助を検討したものをロールプレイで実践する。	
5	セルフモニタリングの教育が必要な精神疾患をもつ対象の事例(統合失調症)の指導の実際		○				事前課題 セルフモニタリングの教育が必要な精神疾患をもつ対象の事例(統合失調症)で必要な支援・援助を検討したものをロールプレイで実践する。	
6	治療に関する意思決定に対する支援が必要な成人期の事例(筋萎縮性側索硬化症)の指導の実際		○				事前課題 治療に関する意思決定に対する支援が必要な成人期の事例(筋萎縮性側索硬化症)について必要な支援・援助を検討したものをロールプレイで実践する。	
7	役割変更しなければならず、家族を含めた支援が必要な成人期の事例(人工透析の導入)の指導の実際		○				事前課題 役割変更しなければならず、家族を含めた支援が必要な成人期の事例(人工透析の導入)について必要な支援・援助を検討したものをロールプレイで実践する。	
8	急性増悪を繰り返し、教育的支援が必要な小児期の事例(ネフローゼ症候群)の指導の実際		○				事前課題 急性増悪を繰り返し、教育的支援が必要な小児期の事例(ネフローゼ症候群)について必要な支援・援助を検討したものをロールプレイで実践する。	
9								
10	糖尿病妊婦の事例の検討と指導の実際		○					妊娠の経過と糖尿病について復習しておくこと
11	回復期看護とは <ol style="list-style-type: none"> <li>回復期の定義</li> <li>回復期の疾患とは</li> <li>回復期における対象の身体的・精神的・社会的特徴</li> <li>回復期における家族の問題</li> <li>回復期における看護の基本</li> </ol>	○			川口慎一郎			
12	回復期における成人期の事例(脳梗塞)の発表会、まとめ		○		権田園美		事前課題 回復期における成人期の事例(脳梗塞)に必要な支援・援助を検討する。	
13	回復期における老年期の事例(脳梗塞)の発表会、まとめ		○			事前課題 回復期における老年期の事例(脳梗塞)に必要な支援・援助を検討する。		
14	回復期における小児期の事例(脳性麻痺)の発表会、まとめ		○			事前課題 回復期における小児期の事例(脳性麻痺)に必要な支援・援助を検討する。		
15	回復期における精神疾患をもつ対象の事例(うつ病)の発表会、まとめ		○			事前課題 回復期における精神疾患をもつ対象の事例(うつ病)に必要な支援・援助を検討する。		
備考	臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえ、臨床に則した授業・演習を行います。							